

2019年7月30日

信州ソーシャル・イノベーションフォーラム 2019
リレートークレポート



一級建築事務所
秋山立花 代表

秋山 怜史 氏

テーマ「行政財産活用・女性子ども支援」

シングルマザーの居住支援

一級建築事務所「秋山立花」の秋山と申します。横浜と京都で建築設計事務所をやっています。私たちは建築設計事務所である前に「社会と人生に新しい選択肢を産みだしていく」存在でありたいと思って活動をしています。本日私から皆さんに共有したいのは2つのピックです。

まずは「シングルマザーの居住支援」についてお話します。皆さんに想像していただきたいのですが、もし、住む場所を借りる事が出来なかったら…。しかも自分のせいじゃなく何か不都合な理由で借りる事ができなかったら、どうしますか？実はシングルマザーはそういった状況に陥りやすいんです。

ここで重要なキーワード「住所・保育園・仕事」があります。「住所」って、とても大事なんです。すべての行政支援は「住所」に紐づいていて、住所が無いと保育園に入ることが出来ません。保育園に入ることが出来ないと、仕事に就くことが出来ない。

でも仕事に就く為にはやっぱり住所が必要だし、保育園も必要。どれか一つ欠けても生活自体が成り立たなくなってしまうんです。この3つを全部一緒に満たさないと、シングルマザーの人たちは自立することが出来ず、非常に生きづらい状況に追い込まれていきます。そういう事で「居住支援」が第一なんです。



シングルマザーのシェアハウスのメリットについて説明

シングルマザー専用のシェアハウスを運営



住所の重要性について説明(分科会)

ただ、いま、日本には有効な居住支援が無い状況になっています。全国に123万世帯のシングルマザーの世帯があると言われていました。長野県では10,997世帯。さらに、私たちの仲間が運営しているシェアハウスの居住者は、半数の人が離婚が成立していません。つまり法律적으로는シングルマザーじゃない人たちがいる。そうすると、先程の更に倍くらいの人たちがシングルマザー状態で苦しんでいる事になります。

そんな中で私たちは民間で何が出来るか、という事で「シングルマザー専用のシェアハウス」を2012年から運営しています。親の違ういろんな子どもたちがリビングで一緒に遊んで、一緒に食事をとったりします。“お兄ちゃん”“お姉ちゃん”が下の子どもを見るということが自然に行われています。シングルマザーのシェアハウスのメリットは「母親も子供も孤立しない」。これはとても大切な事です。子どもと母親の二人だけで暮らしているとどうしても孤立化していってしまう、それが起きません。

また、付帯サービスが受けやすくなります。皆でシェアできるので、安くいいサービスを受ける事ができます。同額の一般賃貸よりも共有部が充実しているので、豊かな暮らしが得られます。しかも、即入居、即生活ができる、イニシャルコストも安価。そして一番大事なのは母親が“ひとりの時間”を持てることです。シングルマザーだと常に子どもと一対一で対峙していなくてはいけなくて、自分の時間を持つことが出来ない。でもここに入居することで、子どもたち同志で遊んでくれると、お母さんが自分の時間を作ることが出来るようになります。



参加者からの相談を受ける(個別相談)

もちろんデメリットもあります。「人間関係がこじれると居づらくなる」、個室が限られているので「荷物の制限」がある、「卒業後の引っ越し費用がかさむ」という問題があります。それでも、今では全国で20件を超える広がりを見せています。

シェアハウスの有効性と未来

また、我々が「マザーポート」という不動産ポータルサイトを作ったり、住所と仕事を一緒に支援してあげられるよう「シェアハウス×就労支援」をしたり、社員寮型のシェアハウスの運営、マザーポートを使った就労支援型の居住を斡旋するという事もやっています。さらに、NPOを立ち上げて各シェアハウスが持っているノウハウを集め、これを色々なところへ共有していこうという活動もしようと思っています。今後は「情報の共有」「情報の発信」「事業者育成」に特に力を入れていきたいと思っています。全国でシェアハウス会議というものを開催して、色々な方々に対して「シェアハウスの有効性と未来」を、みんなで共有していくという活動もしています。

持続可能な行政設備



もう一つのトピック「持続可能な行政設備」については、昨今「人口減少社会において行政施設の老朽化の対応が今のままでよいのか？」ということが非常に問題になっています。“行政の家”としての“行政施設”はどうなんだという事です。そこで行政施設を「土地」「建物」を行政に手放していただいて、完全な民間のビルにテナントとして入る、というプロジェクトを、東北の二つの都市で行っています。建築を手放すと、維持費や管理費から手が離れるんです。

その代わり家賃を払うんですが、「建物の維持管理」という本来の行政の仕事ではないことから手が離れて、より住民サービスに集中ができる。そしてそれが持続可能なまちへ繋がっていくというプロジェクトをやっています。詳しくは後ほど皆さんと分科会で共有させていただければと思います。ありがとうございました。

【 リレートークに関連するSDGsのGOALS…1,3,5,10,11,16 】



秋山 怜史
一級建築士事務所
秋山立花 代表

公式ホームページ
<https://akiyamatachibana.com/>